



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 オリコン株式会社
 コード番号 4800 URL <https://www.oricon.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 恒

問合せ先責任者 (役職名) 企業広報部長 (氏名) 山口 幸作

TEL 03-3405-5252

四半期報告書提出予定日 2021年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,945	4.9	747	5.7	732	15.4	657	16.5
2020年3月期第3四半期	3,096	9.0	792	33.9	865	49.9	564	50.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 642百万円 (30.7%) 2020年3月期第3四半期 491百万円 (31.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	47.61	
2020年3月期第3四半期	41.06	40.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	4,016	3,419	85.1	247.37
2020年3月期	3,857	3,005	77.9	217.71

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 3,419百万円 2020年3月期 3,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		17.00	17.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,300	3.1	1,100	0.8	1,200	3.3	780	1.9	56.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	15,123,200 株	2020年3月期	15,123,200 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,299,847 株	2020年3月期	1,321,281 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	13,819,592 株	2020年3月期3Q	13,755,910 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により個人消費や企業活動が停滞し、景気は厳しい状況で推移しました。2020年7～9月期の国内総生産（GDP）成長率が2020年4～6月期比で実質5.3%増（年率換算で22.9%増）とプラスに転じたものの、感染拡大防止と経済活動の両立を図るなかで感染拡大に収束の兆しは見え、国内経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

国内の情報通信分野においては、株式会社サイバーエージェントの調査によると、インターネット広告における2020年の動画広告市場を前年比14%増と推計し、高速通信規格「5G」の普及等を見越して、今後も高い水準での成長が見込まれるとの予測が出ております。一方、株式会社MM総研の発表では、2020年度上期（4月～9月）の携帯電話端末総出荷台数は前年同期比0.3%減、内訳ではスマートフォンの4.7%増に対してフィーチャーフォンは36.9%減の落ち込みとなりました。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、次のようになりました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により第1四半期の業績は伸び悩みましたが、第2四半期以降の業績は四半期ごとに回復基調にあります。なお、当第3四半期会計期間（10月～12月）における前年同期との比較では、売上高が0.2%減、営業利益が14.0%増となりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、コミュニケーション事業とデータサービス事業が前年同期比で増収となりました。モバイル事業が前年同期比で減収、雑誌事業は事業撤退に伴い前年同期比で減収となりました。以上の結果、全体では前年同期比150,553千円減（4.9%減）の2,945,829千円となりました。

費用面では、売上原価はコストの見直しにより前年同期比155,402千円減（12.8%減）、販売費及び一般管理費は人件費の増加等により前年同期比50,213千円増（4.6%増）となりました。

以上の結果、営業利益は前年同期比45,364千円減（5.7%減）の747,263千円となりました。経常利益は前年同期比133,088千円減（15.4%減）の732,624千円となりましたが、これは、前年同期において当社が出資していた投資事業組合が保有する株式を売却し、投資事業組合運用益が84,673千円発生していたことによります。当期は保有株式の一部を売却し、投資有価証券売却益が255,590千円発生しておりますが、こちらは会計基準に準拠し特別利益として計上しており、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比93,206千円増（16.5%増）の657,995千円となりました。

当第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの状況は、以下の通りであります。

① コミュニケーション事業

ニュースコンテンツの提供ならびにWEBサイトの制作・運営・広告販売等を行うコミュニケーション事業では、「顧客満足度（CS）調査事業」と「ニュース配信・PV事業」を展開しております。

顧客満足度（CS）調査事業の売上高は、前年同期比で7.8%増加しました。10月～12月は、商標利用契約・WEBプロモーション・データ販売の各ビジネスともに前年同期比で収益規模を拡大して推移しました。

ニュース配信・PV事業の売上高は、前年同期比で1.2%減少しました。10月～12月は、企業からのタイアップ広告の出稿等が減少しました。一方で、自社メディア「ORICON NEWS」のページビューは10～12月の直近3か月実績で前年同期と比べ約6%増加しました。また、公式YouTubeチャンネル「ORICON NEWS」では12月にチャンネル登録者数が115万人を超え、再生数も順調に増加しており、エンタテインメント分野を代表する有力なチャンネルとしての地位を確立しております。

新事業モデル創出の一環として、10月に「オリコンNEXTコミュニケーションズ株式会社」（旧商号「オリコン・コミュニケーションズ株式会社」）を設立し、PR(Public Relations)やWEBマーケティングに係るソリューションを提供するコンサルティング事業を推進しております。

以上の結果、コミュニケーション事業全体の売上高は、コンサルティング事業の収益計上もあり、前年同期比61,770千円増（3.2%増）の1,999,157千円、セグメント利益は前年同期比10,727千円増（1.0%増）の1,124,183千円となりました。

②データサービス事業

音楽ソフト・映像ソフト・書籍のマーケティングデータを提供するオンラインサービス「ORICON BiZ online」を中心に、当社グループが保有するエンタテインメント関連データを活用したビジネスを展開しております。売上高は、前年同期比7,995千円増（1.6%増）の497,563千円、セグメント利益は前年同期比26,691千円増（16.7%増）の186,125千円となりました。

③モバイル事業

フィーチャーフォン向け事業の売上高は、市場全体の縮小により前年同期比で16.8%減少し、スマートフォン向け事業は競争激化等により前年同期比で6.6%減少しました。

以上の結果、モバイル事業全体の売上高は前年同期比57,881千円減（11.4%減）の449,107千円、セグメント利益は前年同期比44,790千円減（17.8%減）の206,979千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,016,885千円となり、前連結会計年度末と比べ159,221千円増加しました。これは主に現金及び預金の増加によるものです。

負債合計は597,373千円となり、前連結会計年度末と比べ255,280千円減少しました。これは主に未払法人税等の減少によるものです。純資産合計は3,419,511千円となり、前連結会計年度末と比べ414,502千円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益657,995千円を計上し、配当金234,632千円の支払等によるものです。

これにより自己資本比率は85.1%となり、前連結会計年度末と比べ7.2ポイントの上昇、前第3四半期連結会計期間末と比べ5.1ポイントの上昇となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,160,121	2,395,560
受取手形及び売掛金	574,343	529,592
商品及び製品	5,214	4,198
仕掛品	488	488
その他	205,025	216,493
貸倒引当金	△1,270	△1,166
流動資産合計	2,943,922	3,145,165
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,869	23,399
工具、器具及び備品(純額)	145,276	134,264
土地	1,973	1,973
有形固定資産合計	172,119	159,636
無形固定資産		
のれん	—	26,363
ソフトウェア	144,841	149,142
その他	27,584	16,054
無形固定資産合計	172,426	191,560
投資その他の資産		
投資有価証券	106,313	80,780
その他	469,268	446,562
投資損失引当金	△4,900	△4,900
貸倒引当金	△1,920	△1,920
投資その他の資産合計	568,760	520,522
固定資産合計	913,306	871,719
繰延資産	434	—
資産合計	3,857,663	4,016,885
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,434	10,712
短期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	40,000	—
未払法人税等	257,523	116,270
その他	434,697	370,390
流動負債合計	852,654	597,373
負債合計	852,654	597,373

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,450	1,092,450
利益剰余金	2,416,817	2,837,631
自己株式	△571,552	△562,322
株主資本合計	2,937,715	3,367,759
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	67,069	51,752
その他の包括利益累計額合計	67,069	51,752
新株予約権	223	—
純資産合計	3,005,008	3,419,511
負債純資産合計	3,857,663	4,016,885

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	3,096,382	2,945,829
売上原価	1,210,337	1,054,934
売上総利益	1,886,044	1,890,894
販売費及び一般管理費	1,093,417	1,143,631
営業利益	792,627	747,263
営業外収益		
受取利息	94	78
受取配当金	298	—
未払配当金除斥益	558	679
保険配当金	672	678
投資事業組合運用益	84,673	—
その他	707	320
営業外収益合計	87,004	1,757
営業外費用		
支払利息	1,343	761
株式関連費	10,384	10,688
支払手数料	1,693	4,606
その他	497	339
営業外費用合計	13,919	16,396
経常利益	865,712	732,624
特別利益		
固定資産売却益	—	1,500
投資有価証券売却益	—	255,590
新株予約権戻入益	—	202
特別利益合計	—	257,292
特別損失		
固定資産除却損	2,010	70
特別損失合計	2,010	70
税金等調整前四半期純利益	863,702	989,846
法人税、住民税及び事業税	261,883	293,737
法人税等調整額	37,030	38,113
法人税等合計	298,913	331,851
四半期純利益	564,788	657,995
親会社株主に帰属する四半期純利益	564,788	657,995

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	564,788	657,995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73,149	△15,317
その他の包括利益合計	△73,149	△15,317
四半期包括利益	491,638	642,677
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	491,638	642,677
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コミュニケーション	データサービス	モバイル	雑誌	計	
売上高						
外部顧客への売上高	1,937,387	489,568	506,988	162,437	3,096,382	3,096,382
セグメント間の内部売上高又は振替高	63,000	—	—	—	63,000	63,000
計	2,000,387	489,568	506,988	162,437	3,159,382	3,159,382
セグメント利益	1,113,456	159,433	251,770	13,043	1,537,704	1,537,704

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,537,704
セグメント間取引消去	47
全社費用(注)	△745,123
四半期連結損益計算書の営業利益	792,627

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	コミュニケーション	データサービス	モバイル	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,999,157	497,563	449,107	2,945,829	2,945,829
セグメント間の内部売上高又は振替高	63,300	—	—	63,300	63,300
計	2,062,457	497,563	449,107	3,009,129	3,009,129
セグメント利益	1,124,183	186,125	206,979	1,517,288	1,517,288

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,517,288
セグメント間取引消去	104
のれんの償却額	△909
全社費用（注）	△769,221
四半期連結損益計算書の営業利益	747,263

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。